

福島教区報

天理教福島教務支庁 〒960-8022 福島市新浜町7番26号
TEL 024-534-2251 / FAX 024-534-2404

教会数 123ヶ所
布教所数 110ヶ所
よふぼく数 3378人
(R180.8月末現在)




表統領先生を迎えて『教区祭』を執行

4月2日、表統領・中田善亮先生を迎えて、恒例の「教区祭」が教務支庁に於いて執行され、管内教会長を始め、教信者の方々、約220名が参加した。

まず、平澤教区長が、思いを込めて力強く祭文を奏上。その後、8交替で十二下りのおつとめが、一人ひとり真実をこめてつとめられた。

その後、中田先生が講話に立たれた。中田先生は、「『恩報じが大事なことだ。』と述べられ、小さなことを日々に続けることを、自分自身出来ているかどうかしっかりと振り返り、改めてしていくことを促された。そして、おたすけも身近で小さなことから日々行っていくことを求められた。さらに、人材育成は、一人ひとり相手の身になって立派なようぼくへと導くこととし、後継者講習会は終了したが、引き続きの丹精を願われた。また、数年おちばで過ごすことで、おちばが「帰る場所」になる管内の学校を若い人すすめるよう求められた。

また、少年会（近藤直光団長）では、教区祭に合わせて「春まつり」を開催。教区祭で「よろづよ八首」をつとめた後、教区支庁近くの新浜公園でゴミ拾いのきしんのを行った。最後に、教祖にお誕生のお祝いメッセージを読み上げた。

なお、前日の1日には、中田先生が教区巡回を行い、地域活動について話された後、教区役職者や支部長、各部各会の長が活動の様子をそれぞれに報告した。

教区祭における中田善亮先生講話（要旨）

教祖は天保9年10月、月日のやしろとおさまりになされました。そして、初めてたすけていただいたお札にと、米を4合、お供えに持つてこられた方が記録に残っているのは、もう立教後20年も過ぎてからであります。一人の方を道に導くということとは、本当に大変だということをお示しくだされています。

今この時代に生かさせていただいている私たちは、当時のお道を取り巻く状況や、ご苦労の中を共に通られた先人先輩たちの心の中の葛藤を想像してみることができません。そのためにも書物も、また当時のお道を取り巻く状況なども客観的に捉えらるる題材をたくさん用意していただいています。しかし一方で、本当にそこに、もし自分がいたならば、どんな態度をとったか。状況をしっかりと我が身に置いてみるということも、客観的に思案することと並行して大事なことだと思います。

そして、もう少し私たちはしっかりと教祖を身近に感じさせていただく努力を重ねることが大事だと思います。思い方一つで教祖を普段はいつい忘れて暮らすことも一方ではできてしまう。その中であつて私たちが本当に信仰者として教祖を身近に、そして教祖にお喜びいただけるような日々をつとめさせていくというところが大事なことだと思います。

私、今改めてご恩報じということが大事なことだと思っております。『おとしづ』に、

日を重ね、恩を重ねてどうもならん。
(M31・9・30)

とあります。私たちは、神様から一瞬一瞬ご恩を頂戴しています。ですから、日々のご恩報じということが大事だと思えます。ひのきしんや日参、尽くし運び、いろんなご恩報じの言葉がお道の中にはたくさんあつて、その形をそれぞれでいかに定めて続けるといふこと。続けることで、理が大きくなっていくんであつて、

続けるということに重きがなければならぬ。ですから小さなことでもいいのであつて、それぞれにできる日々のご恩報じを本当に一から考えて、じゃあ自分はやつてるかということ自分をしっかりと振り返つてみて、これを改めてしてみるといいこと。いろんなことが日々あります。たとえばおたすけさせていたいただいても、御用をさせていたいただいても、どうも思うようにいかんということではなくさんあります。なぜ思うようにいかないのかというと、理づくりが本当にできていたんだろうか、ということを考えるのがやはり、私は信仰者の思案の仕方だと思います。そういうことから日を重ね、恩が重なつていかないように、しっかりとご恩報じを果たさせていただく日々を送らせていただくことによつて、どうもならんということのないように、お導きいただくことができることだと思います。

先ほど、いつも教祖を身近にと申しました。しかしこれも、口で言うのは簡単だけれども、多少難しい場

面もあると思います。しかし、こうして日々のご恩報じということがもし意識できていけば、教祖を身近に感じさせていただくということも同じようにできるようになっていく。それによって、身上や事情をお見せいただいたときにも、大難を小難に、小難を無難にしていただくことを喜ぶことができます。そしてその原因となつていっているいんねんや心のほこり、あるいは物事の取違というのを客観的にいち早く我が身に振り返ることができます。信仰はいち早く喜びに心を立て直して、また次に歩みを進めるためにあるんだと思います。そのため、日々ということを一度、思案する。それによって、悟り上手、喜び上手、こういう人に近づいていくことができると思います。

あるいはまた、人様のおたすけにあたって、このように一緒に通らせていただくことで守護をいただけるという道筋を分からせてもらうことができます。

おたすけということが信仰実践としては一番大事だと思います。おた

すけというところ、どうも、明日命がないという方、そんな身上の方のおたすけのことをおたすけと思つていられる方も多いと思うけれども、本当に簡単な一言でも、相手にとつたら、私のはあの一言でたすけてもらったというところもあります。これもおたすけです。そんなに難しい事ではない。いろんな心遣い気遣いから、おたすけというのは身近にたくさんあります。そのことから始めていけば、これも日々なんです。それが自然にできるようになってくれば、いろんなおたすけが身につけてきます。

人材育成ということをよく最近申します。年齢や性別によつて会活動を分けているわけだけでも、一生懸命やればやるほど、つまり1対大勢のことを考えていると、人の顔が見えなくなつてきます。そうじゃなくて、本当に人材育成ということを考えるには、私は一人一人、しっかりと見ていくということが大事だと。子供であつても学生さんであつても女子青年さんであつても、相手の身になつてしっかりとこの人を立派

なようによく育てる。これをしっかりと考えていくことが人材育成だと思つております。

先日、半年にわたつてつとめてきました後継者講習会が全部終了しました。実に2万1千余名の方が受講してくれました。これはもう皆さん方のお声がけの、あるいは心を掛けて下さった賜物だと思つています。本当にありがとうございます。やはりこれに引き続いて、細やかな丹精というものが大事になってきます。教会の役に立つということが有難いことだと、自分のうれしいことにお道の活動がなつていくように、ご丹精をぜひともお願いしたいと思います。本当に一人一人顔を見て、お願いしたいと思つています。

もつとすごいのがおぢばの学校です。2年、3年、4年とおぢばで暮らすということは、教えの理屈を教えるよりも、はるかに大きな信仰が宿る要素が得られると思つています。つまり、おぢばが帰る場所になる。どうぞおぢば管内の学校へも、若い人たちをおすすめていただきたい。

全教一斉 ひのきしんデー



福島支部 特別養護老人ホーム「ファミリーユ」



郡山支部 JR郡山駅西口広場



いわき支部 松ヶ岡公園



会津支部 会津若松市「少年の家」

◎福島教区管内ひのきしん会場◎

福島	特別養護老人ホーム「ファミリーユ」	除草、清掃
安達	霞ヶ城公園	除草、清掃
	蛇の鼻遊樂園	除草、清掃
郡山	JR郡山駅西口広場	除草、清掃
田村	三春歴史民俗資料館	除草、清掃
耶麻	川桁・熊野神社	除草、清掃
	喜多方市・桜ヶ丘公園	除草、清掃
	坂下・台ノ宮児童公園	除草、清掃
	猪苗代・亀ヶ城公園	除草、清掃
会津	会津若松市少年の家	除草、清掃
いわき	いわき市こども元気センター	除草、清掃
	松ヶ岡公園	除草、清掃
相双	JR新地駅	除草、清掃

基礎講座



るのは今回が初めてで、現地の新規スタッフもベテランスタッフに指示を受けながら会場の準備にあたった

5月13日(日)、会津アピオスペースで、上田禮子先生(浪華分教会長夫人)を講師に、基礎講座・福島会場が開催されました。会津



で基礎講座が開催され、打ち合わせ、リハーサルを行うなどしました。受付開始時間よりも前から受講者が訪れ、結果的に41名の方が受講してくださいました。上田先生はご自身の経験も織り交ぜながら、天理教の教えを分かりやすく話され、受講者からも大変好評を得ました。

(Z・F)

教区総出ひのきしん



隊長が作業説明を行った。その後、建物周りの除草と建物内の窓拭きを、それぞれに分かれて行った。

5月19日(土)、教務支庁で恒例の「教区総出ひのきしん」が実施され、48名が参加した。はじめに平澤勇一・教区長が挨拶をし、続いて、生江一行災救隊

婦人会

福島教区「婦人会総会」開催

福島教区婦人会（平澤 栄美主任）では、6月3日、素晴らしいお天気のご守護のもと、教務支庁で「立教181年度福島教区婦人会総会」を開催し、110名が参加しました。はじめに、3交代でおつとめをつとめさせていただきました。



おつとめの様子

井しづ支部主任）、婦人会本部よりお祝いの言葉、教区主任あいさつと続き、教区長先生よりご祝辞をいただきました。荒井麻子・安達委員長部長の「誓いの言葉」に合わせて、成人目標、活動方針を全員で唱和し、婦人会歌を斉唱して午前の部を終えました。



誓いの言葉を述べる荒井麻子・安達委員長

員長が女子青年活動の紹介をし、ドリンクコーナーでは、女子青年がサーブスをしました。
午後からは、記念講演として、教区長・平澤勇一先生の『おふでさき』の中での「たのむ」という場面を取り上げて、3つの大事な角目、「おつとめ」、「人をたすける心」、「思案すました」の大切さをお話しいただきました。
(S・A)



講師：平澤勇一先生



て天理小学校
長時代に、児
童の姿から学
んだことなど
を題材に、周
囲に心を配る
ことの大切さ
についてお話
をされた。
(Z・F)

道の教職員の集い

「総会」開催

福島教区道の教職員の集い
(古川善一代表世話人)では、
6月10日、会津若松市の勤労青
少年ホームにおいて「立教181年
度総会」を開催。会員5名が参加した。

まず、昨年度の活動報告や決算報告、
今年度の活動計画や予算といった議事を
審議した後、本部講師・後藤典郎先生(道
の教職員の集い相談役)が講話した。
先生は、天理高校教諭時代にラグビー
部の生徒や保護者から学んだこと、そし

道の教職員の集い

「きょういく講演会」開催

福島教区道の
教職員の集い(古
川善一代表世話
人)では、6月

10日、会津若松市の勤労青
少年ホームにおいて「きよ
ういく講演会」を開催。13
名が参加した。今回は「地
域における教育」について
学ぼうと、保護司を長年務
めている孔岩雄先生(磐湖



分教会長)に講師をお願いした。
孔先生は「みんな丸い心でつながって
いる」をテーマに、「丸い心でというのは、
優しい心、そして「ありがとう」という
感謝の心に繋がっていく。」「ゲームやス
マホはさみしいからやっている。」「犯罪
の認知件数は減ってきているが、虐待な
ど増えてきているものもある。隣近所の声
掛けが忘れられてきているからでは。」「教
祖の道すがらの中での米泥棒や毒を盛られ
た話で、許してあげるといふ教祖の行い
があるが、大きな心で許し、たずかる方
向づけをしてあげるといふことが次の事
件の防止に繋がっていく。」「地域で事件
が起こらないように声を掛け合い、丸い
心で繋がっていくことが大切。」「罪を犯
した人は、償いを終えて地域に戻ってく
る。地域で受け入れ抱えていくことが必
要。」といったことを、時に具体例を交え
ながら分かりやすく話された。
最後に質疑応答の時間も持たれ、参加
者からの質問等にも答えていただいた。

.....おちぼでの行事.....

少年ひのきしん隊本部練成会
 【日時】 7月29日(日)～8月6日(月)
 【対象】 わかぎ(中学生)で教区団育成会長が推薦する者。特に教会長子弟の率先参加を望む
 【費用】 25,000円(支部助成を含む)

第61回道の教職員 夏の集い
 【日時】 8月7日(火)～8日(水)
 【会場】 天理小学校・天理教校学園・他
 【内容】 特別講演(講師・深谷善太郎本部長)
 教育講演(講師・伊藤芳正氏)
 分科会、グループトークなど
 【参加費】 7,500円(全日程)

.....福島教区内の行事.....

成人塾
 【日時】 8月16日(木)～17日(金)
 【対象】 小中学生
 【会場】 福島教務支庁
 【費用】 300円

おやこキャンプ練成会
 【日時】 8月18日(土)～19日(日)
 【会場】 いわき海浜自然の家
 【費用】 500円
 【内容】 野外炊飯・お楽しみ行事、など

天理教基礎講座(福島会場)
 【日時】 9月16日(日)午後1時30分～
 【会場】 福島テルサ(福島市)
 【受講御供】 500円
 【日時】 11月18日(日)午後1時30分～
 【会場】 ラトブ6F(いわき市)
 【受講御供】 500円

まなびば
 【日時】 8月18日(土)～19日(日)
 【対象】 高校生
 【会場】 いわき海浜自然の家
 【費用】 500円
 【内容】 グループワーク、おつとめ練習、お楽しみ行事、等

福島教区ホームページ 「天理教福島教区」で検索!
[Http://tenri-fukushima.sakura.ne.jp](http://tenri-fukushima.sakura.ne.jp)

さあ、俺たちの百周年を共に体感しよう。

10/28

全青年会員おちぼに集結

創立百周年記念 第94回天理教青年会総会 午前10時 本部中庭

10月28日(日)
天理教青年会
創立100周年記念総会

